

世界が進むチカラになる。



経済調査

# グラフで見る東海経済 (2025年1月)

2025年1月14日

調査部 主任研究員

塚田裕昭

# 今月の景気判断 ～足踏み状態となっている

## 【今月のポイント】

- 東海経済は、足踏み状態となっている
- 10月の生産(東海3県)は前月比+5.1%と2カ月連続で増加したが、均してみると足踏み状態となっている
- 11月の実質輸出指数は前月比+1.8%と3カ月ぶりに上昇したが、均してみると足踏み状態となっている
- 11月の小売販売額は、名目値では前年比+3.3%とプラスに転じたが、実質値では同-0.3%と3カ月連続でマイナスとなった
- 10月の名目賃金は、前年比+1.6%と増加が続いているが、実質では3カ月連続でマイナスとなった

項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている
生産	足踏み状態となっている
輸出	足踏み状態となっている
設備投資	増加している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直している
個人消費	持ち直している
住宅投資	横ばい圏で推移している
公共投資	高めの水準となっている

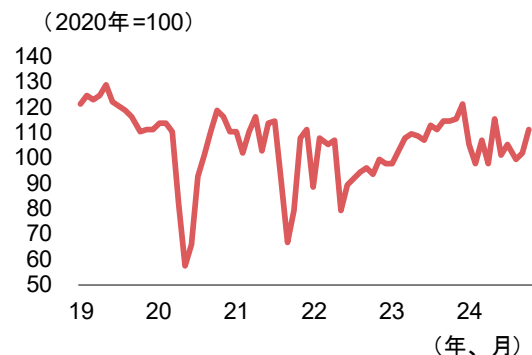
# 生産

10月の鉱工業生産(東海3県)は前月比+5.1%と2カ月連続で増加したが、均してみると足踏み状態となっている。電子部品デバイスが減少したが、輸送機械、電気機械、汎用・生産用・業務用機械が増加した。先行きについては、自動車の挽回生産などにより持ち直しが見込まれる。

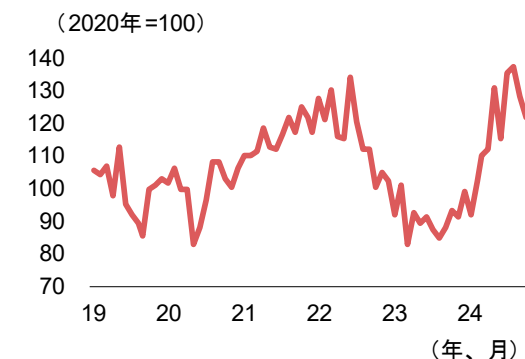
## 鉱工業生産指数



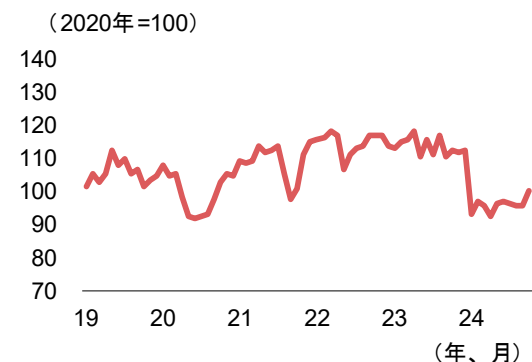
## 輸送機械



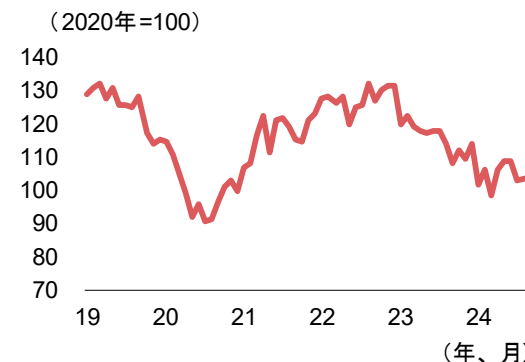
## 電子部品デバイス



## 電気機械



## 汎用・生産用・業務用機械

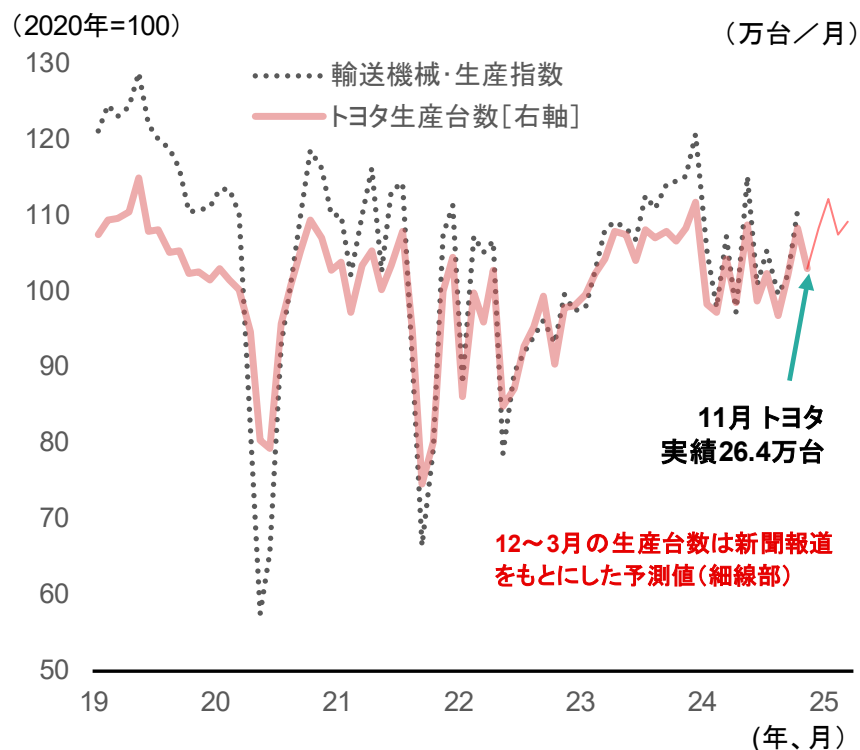


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

# 生産（トヨタ国内生産）

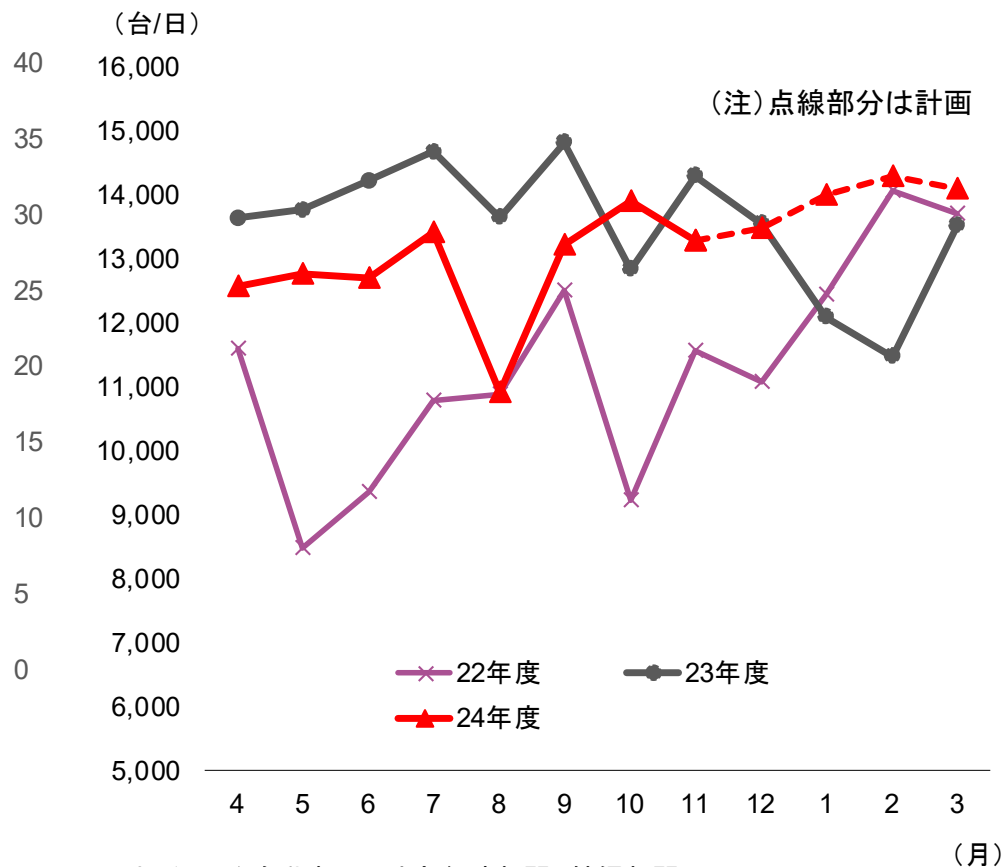
11月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は26.4万台と3ヵ月ぶりに減少。同月初旬にトヨタ車体の2工場4ラインを設備の確認作業のため停止したことが影響した。先行きについては、1-3月の日当たり生産台数が1万4千台程度と高めの水準の生産が見込まれている。

トヨタ月次生産台数(季節調整値)



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの  
(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鋳工業生産指数」

トヨタ日当たり生産台数(原数値)



(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

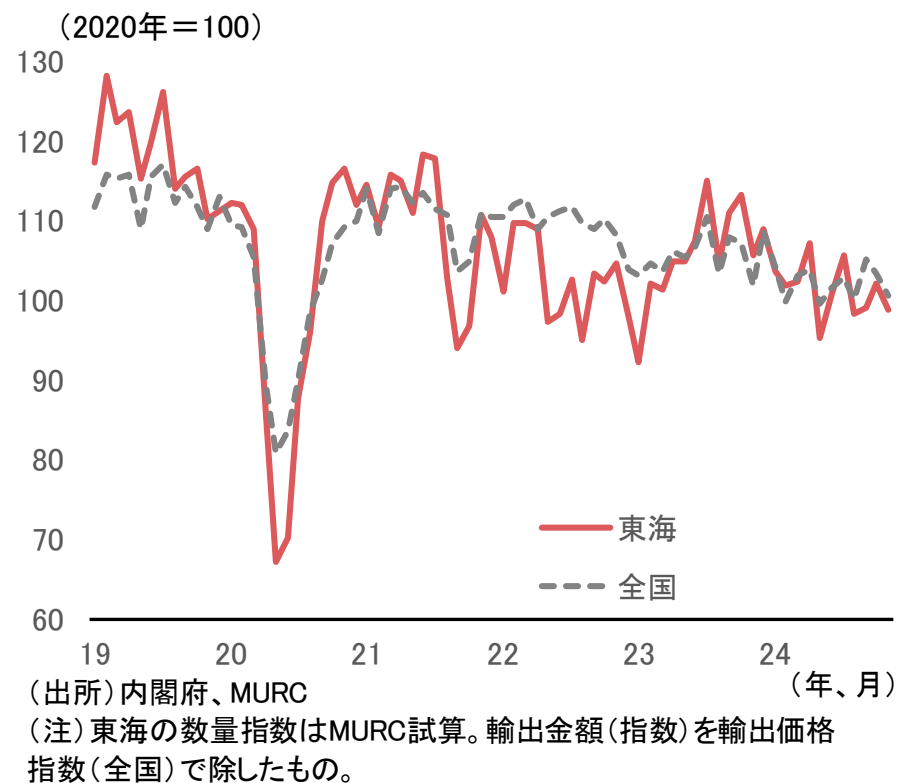
# 輸出

11月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+1.8%と3ヵ月ぶりに上昇したが、均してみると足踏み状態となっている。当社試算による11月の輸出数量指数(季節調整値)は、小幅ながら前月比で3ヵ月ぶりに低下した。

## 実質輸出指数(季節調整値)



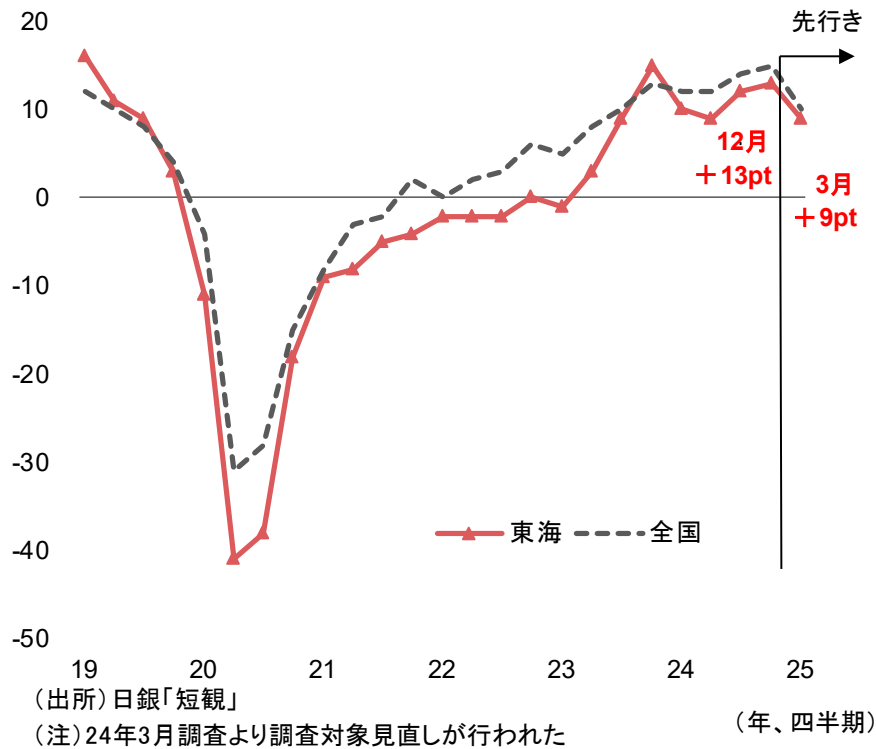
## 輸出数量指数(季節調整値)



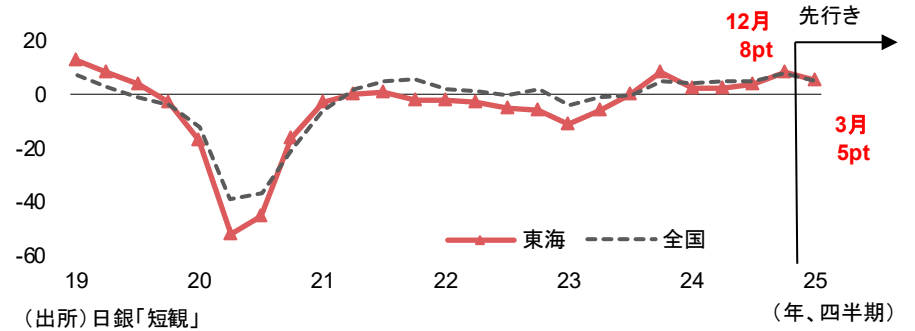
# 企業景況感(日銀短観)

日銀短観12月調査の業況判断DIは、全産業で+13ptと9月調査(+12pt)から小幅改善した。製造業は改善。化学、生産用機械、自動車が改善する一方、食料品、非鉄金属が悪化した。非製造業は小幅悪化。電気ガス、対事業所サービスなどが悪化した。先行き(3月)については、製造業、非製造業とも悪化が見込まれている。

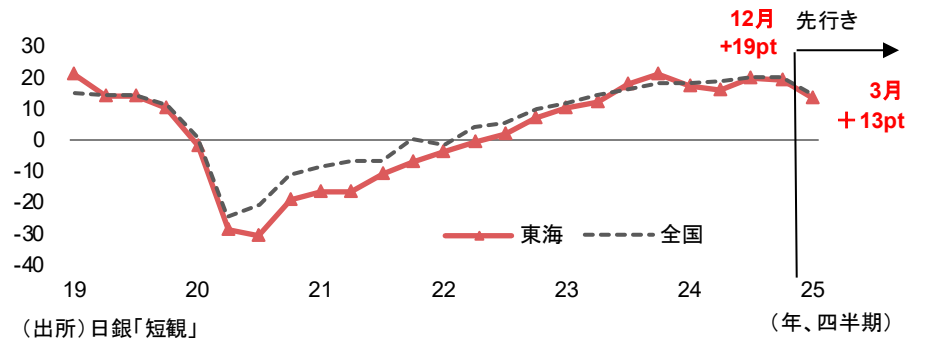
## 短観 業況判断DI「全産業」



## 同 製造業



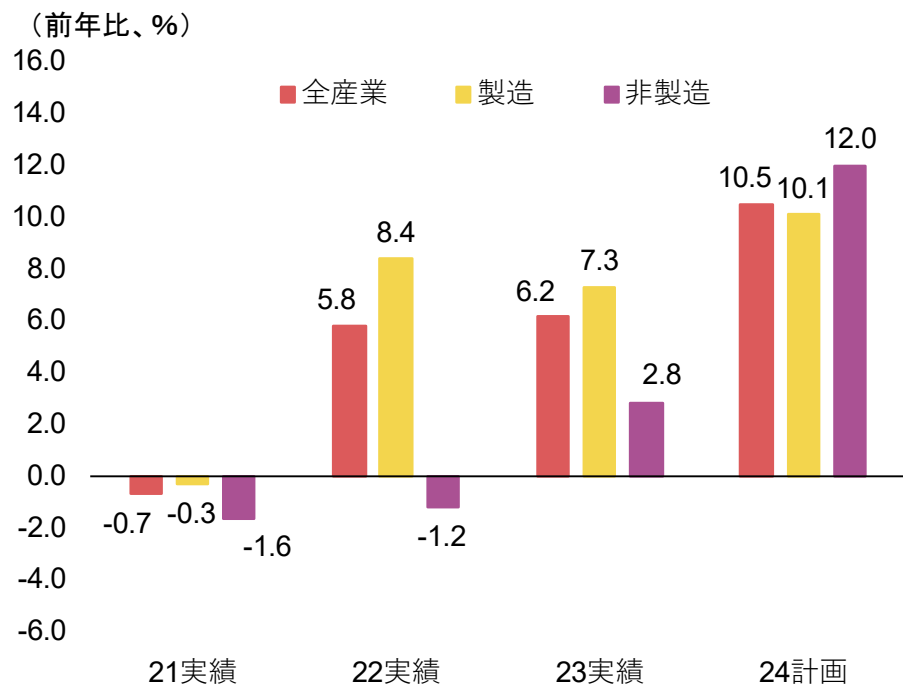
## 同 非製造業



# 設備投資(日銀短観)

日銀短観12月調査によると、24年度の設備投資は全産業で+10.5%と前回調査から小幅上方修正となり、高い伸びが見込まれている。業種別では、はん用機械、その他輸送用機械、建設、不動産、卸売、情報通信などで高い伸びが見込まれている。

設備投資 実績・計画



設備投資額(前年比%)

	23年度実績	24年度計画		
		今回調査	前回調査との差異	前回調査
全産業	6.2	10.5	( 0.7 )	9.8
製造業	7.3	10.1	( -0.1 )	10.2
非製造業	2.8	12.0	( 3.6 )	8.4

(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

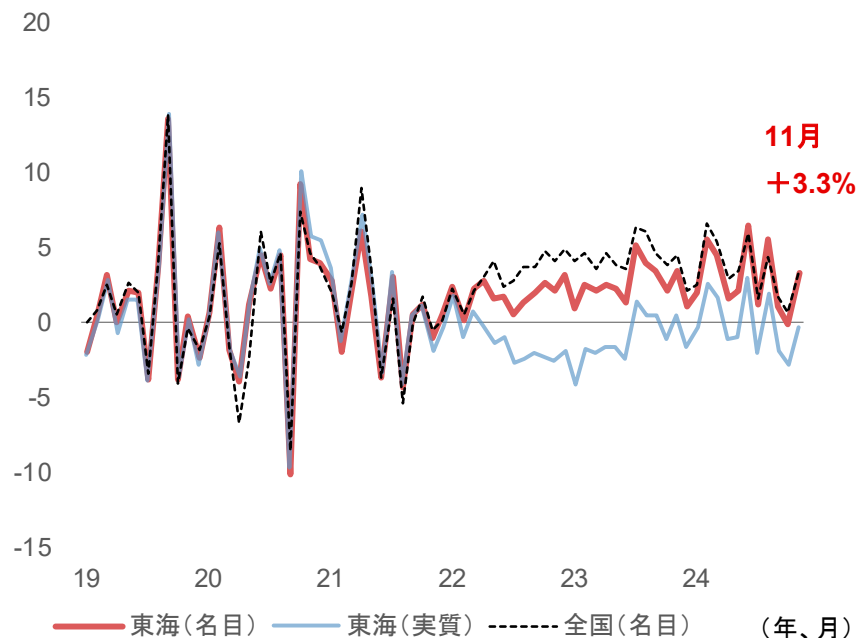
## 個人消費(小売売上、自動車販売)

11月の小売販売額(名目)は前年比+3.3%と2ヵ月ぶりにプラスとなった。実質値を試算すると、11月は前年比-0.3%と3ヵ月連続でマイナスとなった。

11月の新車販売は、前年比-3.6%と2ヵ月連続でマイナスとなった。普通車は増加したが、小型車、軽自動車が増加した。

### 小売販売額(6業態計)

(前年比、%)

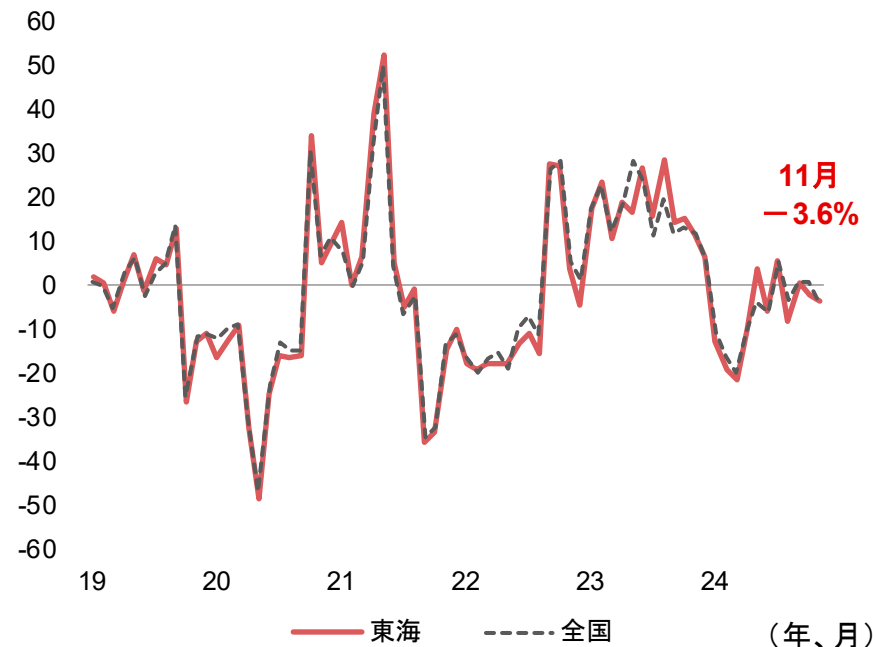


(出所)経済産業省「商業動態統計」からMURC試算

(注)百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計  
「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

### 新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



(出所)日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

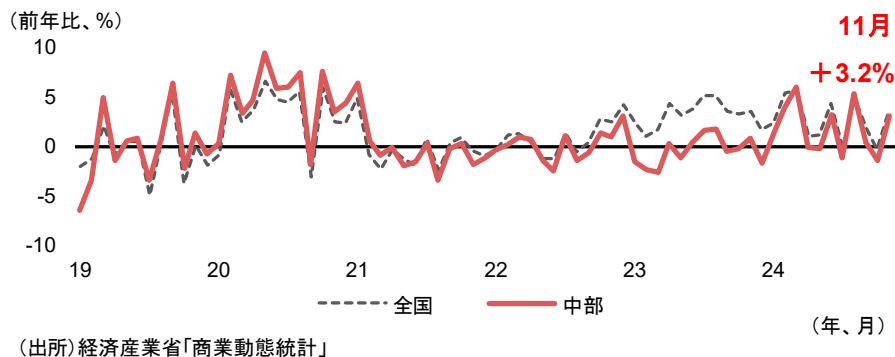
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」



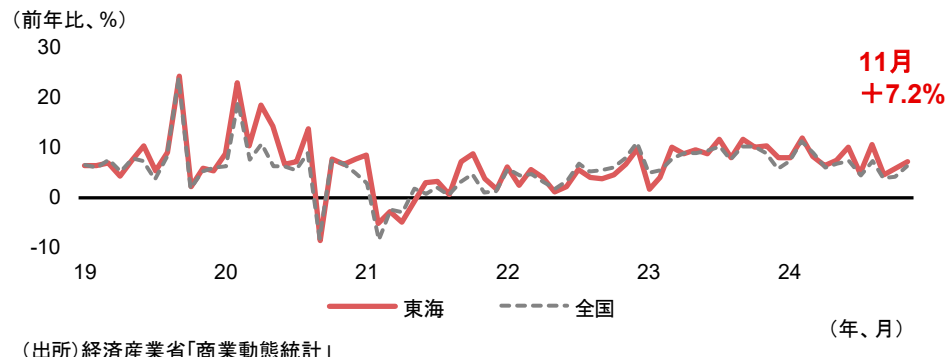
# 個人消費(業態別)

11月の業態別小売販売(名目)を見ると、スーパー(中部5県)は前年比+3.2%と2ヵ月ぶりに増加した。11月の百貨店売上(名古屋)は、高額品、インバウンド、季節商材が伸び、前年比+9.8%とプラスに転じた。

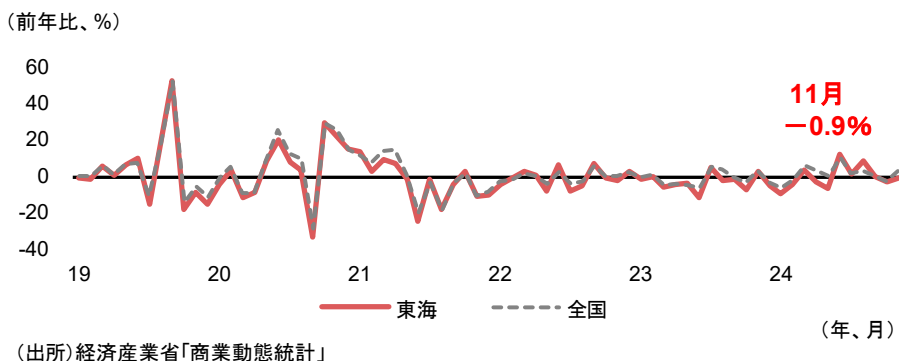
## スーパー販売額



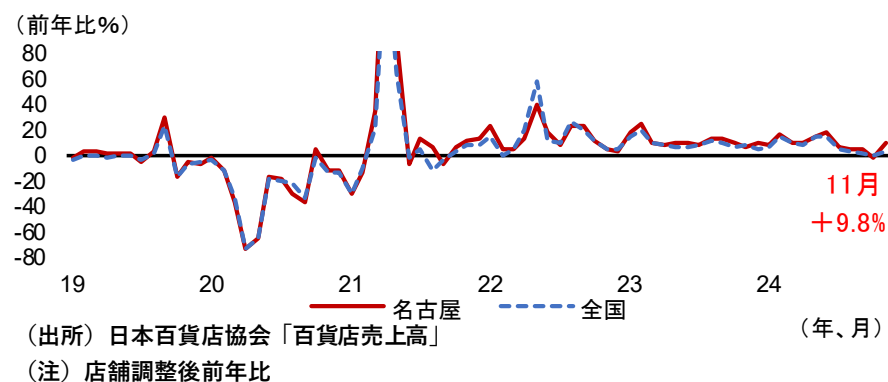
## ドラッグストア販売額



## 家電大型販売店販売額



## 百貨店売上高

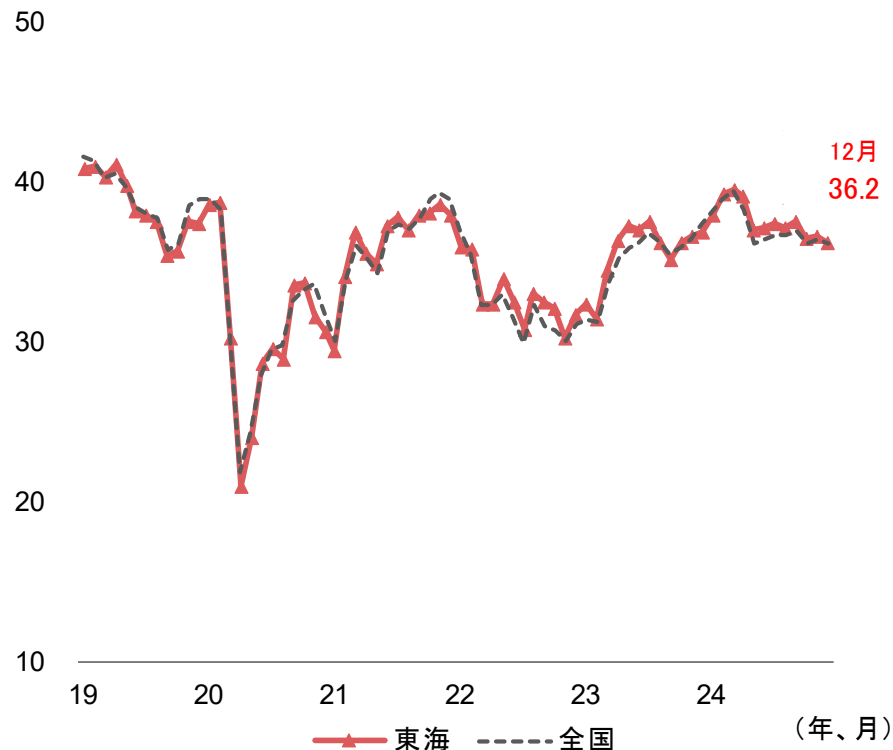


# マインド・景況感

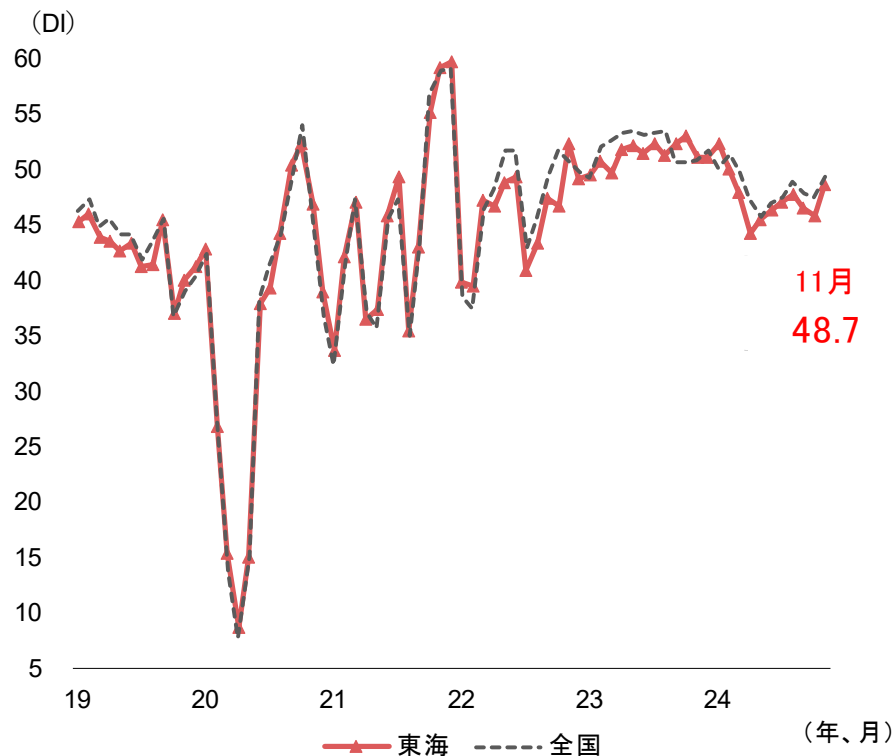
12月の消費者態度指数は、2カ月ぶりに低下した。

11月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、気温の低下による季節商材の伸び、インバウンド等が影響して前月差+2.8ポイントの48.7となったが、横ばいを示す50を9カ月連続で下回った。

### 消費者態度指数



### 景気ウォッチャー調査(現状判断)



(注) 東海の季節調整値はMURC試算  
(出所) 内閣府「消費動向調査」

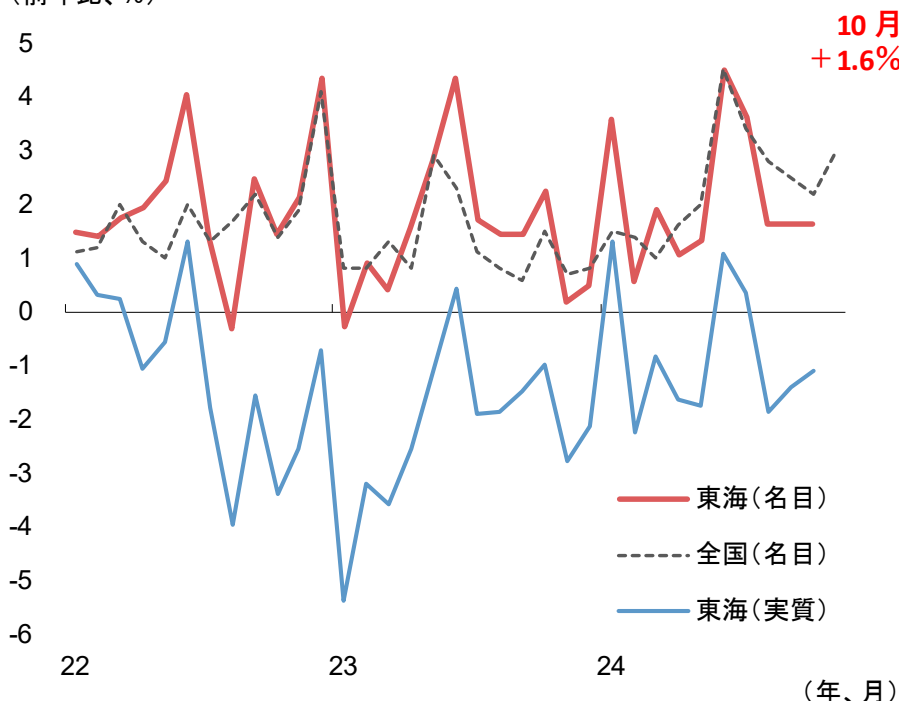
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

10月の名目賃金は、前年比+1.6%と増加が続いているが、実質では3ヵ月連続でマイナスとなった。  
 11月の有効求人倍率は1.30と前月から小幅上昇。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いている。  
 24年7-9月期の失業率は1.9%と低下、就業者数は前期比で小幅ながら減少した。

## 賃金指数

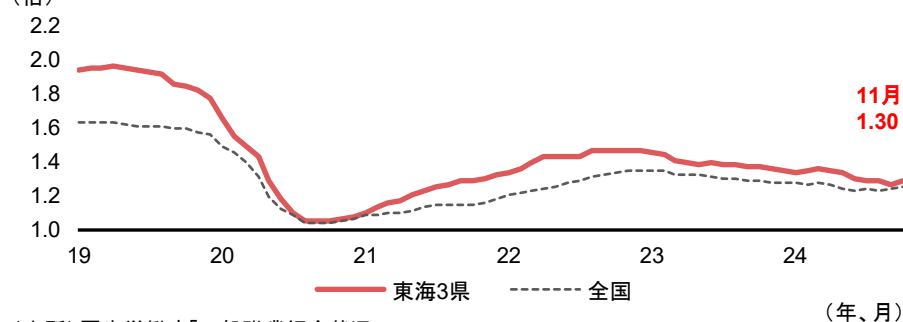
(前年比、%)



(出所) 東海3県の名目賃金指数(現金給与総額)、常用雇用者指数よりMURC作成  
 (注) 「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

## 有効求人倍率(季節調整値)

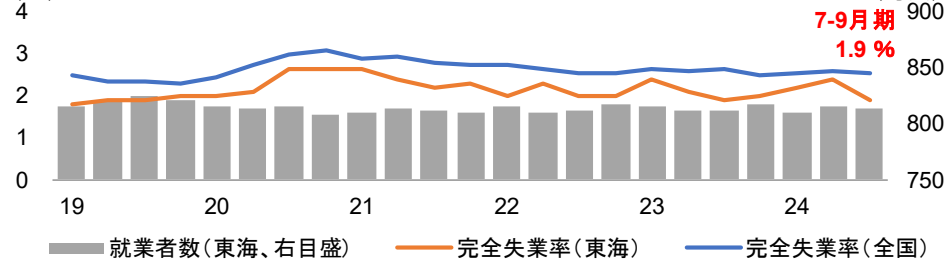
(倍)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

## 失業率と就業者数(季節調整値)

(%)

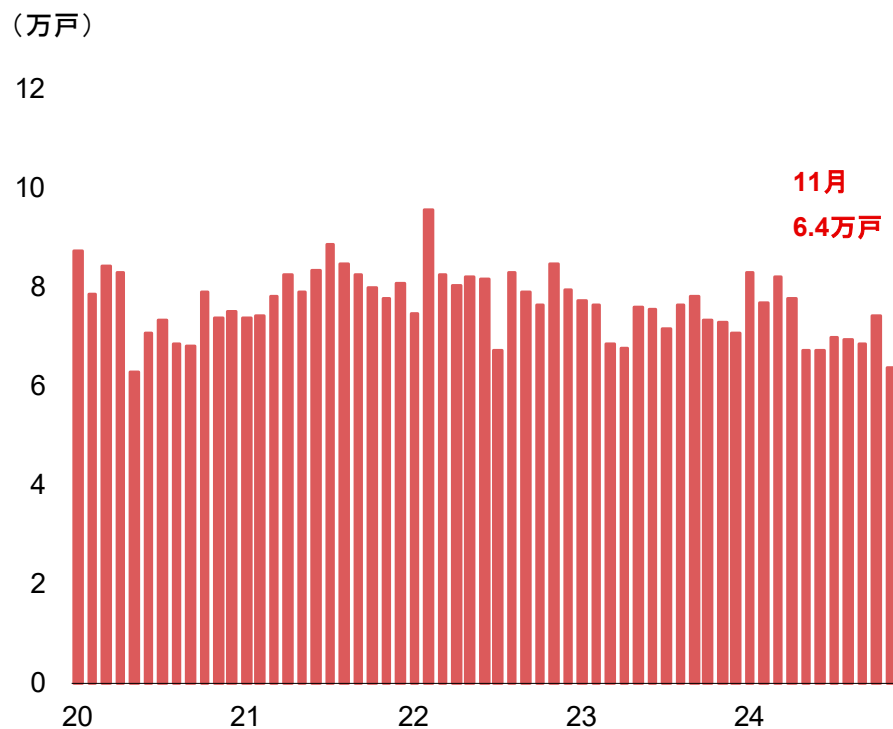


(出所) 総務省「労働力調査」

# 住宅投資

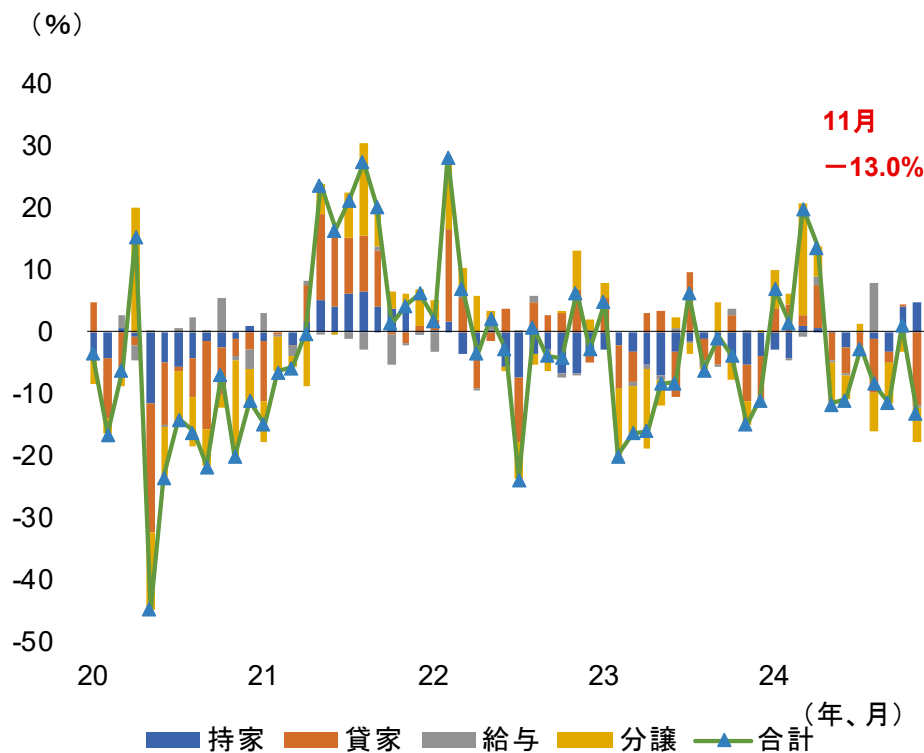
11月の住宅着工は、季節調整済年率換算で6.4万戸と2ヵ月ぶりに前月比で減少した。前年比では-13.0%と2ヵ月ぶりに減少した。持家は増加したが、貸家、分譲が減少した。東海の住宅投資は、均してみると横ばい圏で推移している。

新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値  
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

新設住宅着工戸数(前年比)

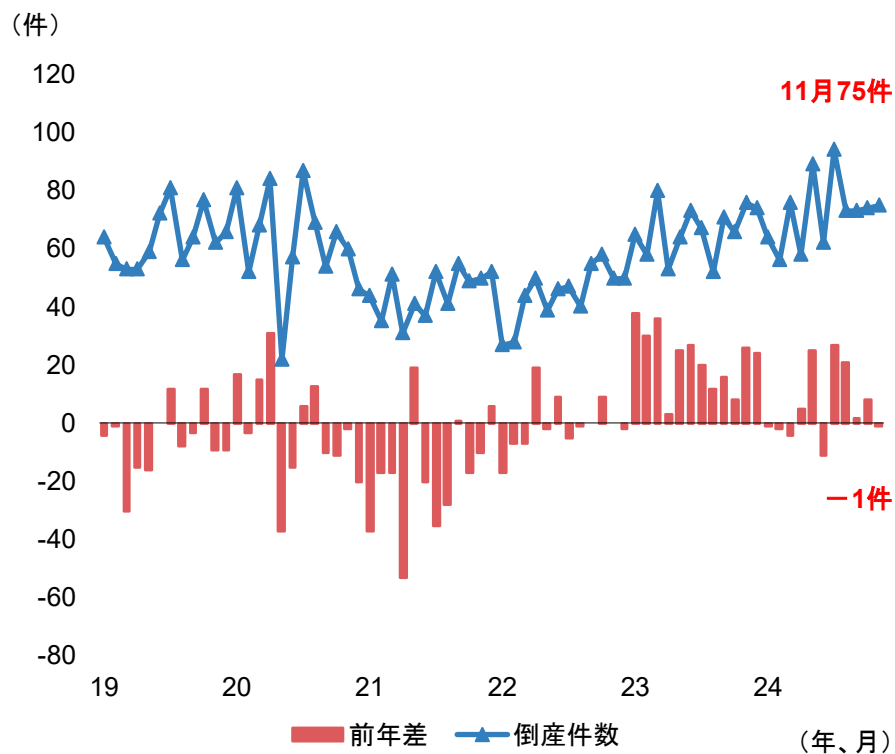


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

## 倒産

11月の倒産件数は前年差－1件の75件。コロナ前程度の水準となっている。

### 倒産件数

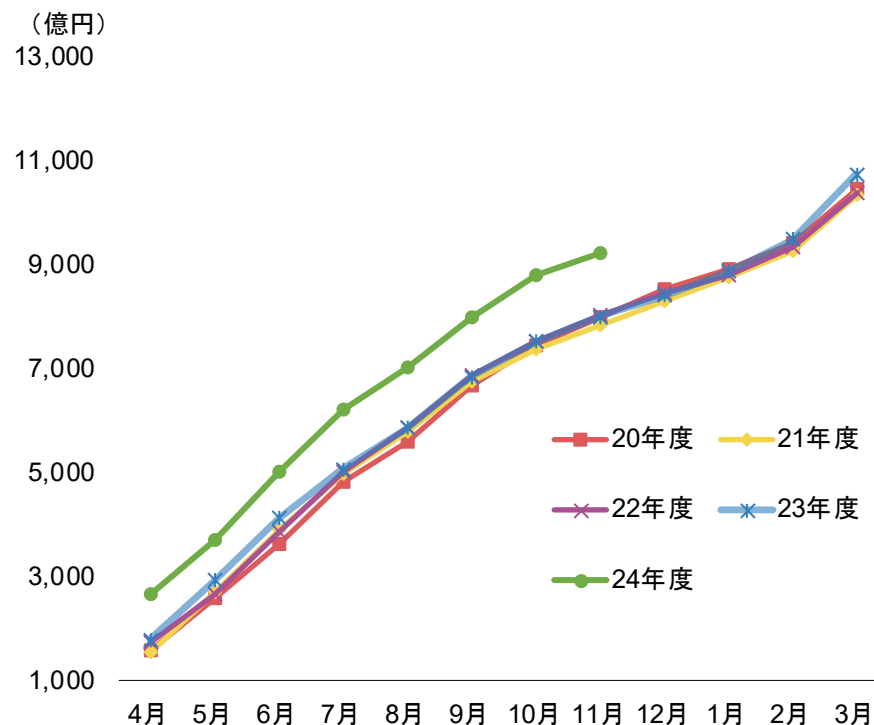


(出所)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

## 公共投資

11月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比＋15.4%の9,233億円と、例年に比べ高めの水準となっている。

### 公共工事請負金額(年度累計)



(出所)東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

## ご利用に際して

---

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL: 03-6733-1626 E-mail: [chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー